

## パネルディスカッション参加者の経歴等について

### 【コーディネーター <sup>ひぐち よしお</sup>樋口 美雄 氏（慶応義塾大学商学部教授）】

- ・実践型地域雇用創造事業等 選抜・評価委員会 会長
- ・1952年生まれ。商学博士。一橋大学経済研究所客員教授、米国スタンフォード大学経済政策研究所客員研究員、オハイオ州立大学経済学部客員教授等を経て現職。専門は労働経済学・計量経済学。日本学術会議・会員（経済学委員会委員長）、内閣府統計委員会・委員長、厚生労働省 労働政策審議会・会長 など。

### 【参加者】

#### ○ <sup>にしきわ まさき</sup>西澤 正樹 氏（亜細亜大学アジア研究所教授）

- ・実践型地域雇用創造事業等 選抜・評価委員
- ・1956年生まれ。専門分野：中小企業論、地域経済論、中国産業地域研究
- 主な経歴：専修大学大学院経済学研究科修士課程修了、成城大学非常勤講師、(有)パス研究所代表取締役、2009年4月～現職。
- 審議会等：日韓における地域間連携の推進に関する研究会（国土交通省）委員、地域間交流支援事業案件選考諮問会議（日本貿易振興機構）委員

#### ○ <sup>いはら けんたろう</sup>井原 健太郎 氏（山口県柳井市長）

- ・1974年生まれ。早稲田大学政経学部卒業。2009年3月、当時、全国で2番目に若い34歳で柳井市長に初当選し、第2代市長に就任。現在、2期目。
- 本年2月の市長選において市民に示した、①すべては、ひとつづくりから、②キーワードは、「医・職・住」、③さらに開かれた市政へ、以上の3つの柱と50の具体的施策からなるローカルマニフェスト「チャレンジ柳井2013」の実行・実現による柳井市の活性化に取り組んでいる。
- モットーは、「市民のなかへ、市民とともに、市民のために。」
- 柳井地域は山口県下でも最も雇用情勢が厳しく、雇用創出が最重要課題である。平成24年度（2012年度）より実践型地域雇用創造事業に取り組んでおり、初年度45人の雇用創出計画に対し、実績は150人であった。

#### ○ <sup>こすげ まさお</sup>小菅 正夫 氏（北海道大学客員教授、前旭川市旭山動物園園長）

- ・1948年生まれ。1973年、北海道大学獣医学部卒業後、獣医師・飼育係として旭川市旭山動物園に就職すると、飼育係長・副園長などを歴任し、1995年には園長に就任する。就任当初、当時入場者数がどん底にあり、閉園の危機に立っていた旭山動物園。それを、これまで描いてきた理想の動物園構想を元に、水中トンネルでペンギンの遊泳を見せる「ペンギん館」など、斬新なアイデアを導入することで今までの動物園のイメージを一新。その結果、月間入園者数日本一を達成など、日本最北の小さな動物園を日本有数の入園者を誇る動物園にまで育て上げた。著書に『生きる意味ってなんだろう？』、『「旭山動物園」革命』など。

#### ○ <sup>ますとみ はやと</sup>増富 勇人 氏（深浦町役場町づくり戦略室 主任主査）

- ・1972年生まれ。秋田経済法科大学附属高等学校（現：明桜高等学校）卒業後、1995年4月に入庁。主に企画・観光の仕事に従事し、2009年4月から町づくり戦略室にて、地域雇用創造推進事業をはじめ、パッケージ関連事業を担当。2013年7月には、実践型地域雇用創造事業の開始に伴い、深浦町農水産物加工場を核とした地域6次産業化の推進及び森林セラピー<sup>®</sup>基地を活用した新たな観光プログラムの開発による雇用創出に取り組んでいる。